

# 中期目標の達成状況に関する評価結果

長崎大学

平成21年3月

独立行政法人大学評価・学位授与機構



## I 教育に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「教育に関する目標」に係る中期目標（4項目）のうち、3項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### (1) 教育の成果に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「教育の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（6項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、3項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」、1項目が「不十分」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「学業の成果」「進路・就職の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (2) 教育内容等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「教育内容等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（10項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、4項目が「良好」、5項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育内容」「教育方法」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (3) 教育の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（5項目）のうち、2項目が「非常に優れている」、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育の実施体制」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (4) 学生への支援に関する目標

[評価結果] 中期目標の達成状況がおおむね良好である

[判断理由] 「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のうち、1項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画で「平和学、長崎学に関するカリキュラムを更に充実させる」及び中期計画に記載されていない措置等「地域に根ざした特色ある教育を充実させる」としていることについて、全学教育や専門教育において、長崎の地域と歴史を基にした「長崎学」や全学乗船実習など新たな展開を図っており、また、特色ある大学教育支援プログラムや現代的教育ニーズ取組支援プログラム等の競争的資金を得て、地域の地理的・文化的特性を生かした教育を積極的に推進している点で、優れていると判断される。
- 中期計画で「専門教育においては、各学部の教育目標に応じて、専門基礎科目から応用科目まで体系的なカリキュラムの編成を行う」及び「平成15年特色ある大学教育支援プログラム「特色ある初年次教育の実践と改善」と「ものづくりを支える工学力教育の拠点形成」を推進し、全国のモデルとなる初年次教育と工学力養成カリキュラムを構築する」としていることについて、特色ある大学教育支援プログラムに採択されている「特色ある初年次教育の実践と改善」や「ものづくりを支える工学力教育の拠点形成」等による課題をうまく組み合わせ、初年次教育から卒業後を強く意識した専門教育までを全学的な視点から行っている点で、優れていると判断される。
- 中期計画「図書資料、学内貴重資料、学内学術刊行物等の電子情報化を推進する」及び「利用者のニーズに対応して、附属図書館の夜間開館時間の延長を実現する」について、附属図書館において貴重な画像資料等のデジタルアーカイブズ化により地域の文化遺産に関するデータベースを充実させているほか、附属図書館分館も含めて開館時間を延長して利用者数の増加が見られたことは、優れていると判断される。
- 中期計画で「教育活動に関する点検・評価を実施し、特に高い評価を受けた教員には、一層の向上を促すための適切な措置をとる」としていることについて、教育の一層の向上を教員に促すためにインセンティブを与えるなど教育を重視した人事評価システムを導入していることは、優れていると判断される。
- 中期計画で「IT支援による新しい学習体制の整備を行い、多様な学習形態を実現する」及び「学年担任制度、クラス担任制度、少人数担任制度、チューター制度など学部に適した体制を整備するとともに、TAを配置して指導を充実させる」としていることについて、e-learning等の授業の充実を図っているほか、実習科目を中心にティーチング・アシスタント(TA)が学生を支援していることは、学習の成果が上がっている点で、優れていると判断される。

(改善を要する点)

- 中期計画「学部教育の学際化を図るため、大学院再編に連動して、学部間の単位互換やカリキュラムの相互乗り入れを実現する」について、元々共通科目が多い医学部関係での単位互換等に留まっており、生産科学研究科を構成する工学部、環境科学部及び水産学部ではあまり学際化が進展していないことから、改善することが望まれる。
- 中期計画「学生の職業意識向上のために、キャリア教育を充実させるとともにインターンシップ等を通して産業界との連携を強化する」について、学部による取組状況にかなりのむらが見られ、全学的な取組としては不十分であることから、改善することが望まれる。
- 中期計画「FDプログラムとその成果を評価し、評価結果はホームページ等を通じて学内外に公表する」について、長崎大学教育改善報告書など、ほとんどの報告書が学内からのアクセスに限定されていることから、改善することが望まれる。
- 中期計画「単位取得状況の把握による指導体制を確立する」について、経済学部及び工学部において最高学年次に留年する学生が多いことから、改善することが望まれる。
- 中期計画で「経済的支援：①学費免除制度を活用するとともに、外部資金による奨学金制度の創設を目指す」としていることについて、一部の学部を除いて外部資金による奨学金の支援があまり充実していないことから、改善することが望まれる。

(特色ある点)

- 中期計画「自己表現能力の涵養を重視し、自主的な学習・研究態度を身につけさせる」について、全学教育としてプレゼンテーションやディスカッションを主体とした少人数の教養セミナー等を行っていることは、学生の自己表現能力を高め自主的な学習態度を育てている点で、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画「入学者選抜方式・選抜方法の適切さを評価するために、入学から卒業までの学生の修学状況、卒業後の進路状況、社会における貢献度について追跡調査を行う。また、そのためのデータベースを新たに設計・構築する。」について、学生修学状況の追跡調査により総合データを作成し、それを基に入学者選抜方式・選抜方法の適切さを評価して、専門適性が重要な医学系（医学部医学科）でアドミッション・オフィス(AO)入試の定員を増やしていることは、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画で「①評価結果を教員個人、講座等、部局へ適切に還元する」及び「③評価結果を教育改善に効率的に連動させるために、FDなどを活用した教育マネジメント・サイクルを確立する」としていることについて、学生等による授業評価や企業を含む大学における教育評価の結果が全学教育科目委員会・部局にフィードバックされるとともに、様々な視点からの全学ファカルティ・ディベロップメント (FD)、部局ファカルティ・ディベロップメント (FD) を継続的に実施して、教育改善が図られていることは、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画に記載されていない措置等「大学・地域が協働して学生の自主的活動を支援する」について、長崎大学と地域が連携して学生の自主的活動に対する支援や学生のキャンパスライフを活性化する総合的な支援体制を整備していることは、新たな

社会的ニーズに対応した学生支援プログラムとして採択された点で、特色ある取組であると判断される。

## II 研究に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「研究に関する目標」に係る中期目標（2項目）のすべてが「良好」であることから判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「研究水準及び研究の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（3項目）のうち、2項目が「良好」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (2) 研究実施体制等の整備に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「研究実施体制等の整備に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

（優れた点）

- 中期計画「重点的に育てようとする研究分野を選定し、その研究課題に対して研究費、研究スペース及び人的資源面で積極的に支援する」について、重点研究課題として10課題を選定し、それに伴う資源配分を重点的に行っている。また、テニユアトラック制を導入して、重点研究課題プロジェクトチームに若手教員を採用し育成が着実になされている。これらのことは、全学的に透明性の高い研究推進体制とその支援体制が整っている点で、優れていると判断される。

- 中期計画「東南アジア・東アジアに近いという本学の地理的特性に基づく特色ある研究」を行うことについて、地理的な特性を生かした特色ある研究を推進することにより、「東アジアにおける最適な金融システムの研究」や「熱帯病・感染症研究」が国内のみならずアジアにおいていずれも高い評価を受けていることは、優れていると判断される。
- 中期計画「多様な研究活動を柔軟に推進するための研究者及び研究支援者の配置を可能とする全学的な調整システムを構築する」及び「医歯薬学総合研究科放射線医療科学専攻と原爆後障害医療研究施設、及び医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻と熱帯医学研究所の共同研究体制（いずれも 21 世紀 COE に採択済み）を中心として、国際共同研究及び国内共同研究体制を強化する」について、21 世紀 COE プログラム「放射線医療科学国際コンソーシアム」「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」やテニユアトラック事業を含む様々な外部資金による有期雇用教職員制度を確立し、教員や若手研究者を、全学的に決められた重点研究に配置し研究を推進している点で、優れていると判断される。
- 中期計画で「他機関との共同研究体制、産学官共同研究体制への発展を積極的に支援する」としていることについて、長崎 TLO と連携して長崎県や他の大学等との産学連携を推進する取組等を行うことにより、受託研究の受入れ件数、受入れ金額とも順調に増加していることは、優れていると判断される。

(改善を要する点)

- 中期計画「生命科学系では、中期目標期間中に SCI 及び SSCI 登録学術雑誌への受理論文数やインパクトファクター合計点を増加させる」について、附属病院における診療体制の強化といった側面があるとしてもインパクトファクターの合計点や SCI 及び SSCI 登録学術雑誌への受理論文数がやや減少ぎみであることから、改善することが望まれる。
- 中期計画「技術職員及び教務職員の適切な配置のための見直しを行い、技術的レベルの向上と研究面における活性化を図る」について、技術職員、教務職員の配置を見直しているのは工学部のみであり、他学部においては専門的知識及び技術等を習得させるための研修を行っているのみと推察される。したがって、全学的な取組になっていないことから、改善することが望まれる。

(特色ある点)

- 中期計画「地域が抱える諸問題を積極的に研究課題として取り上げ、それらの研究活動を通して、当該分野におけるアジアや世界での中核的研究拠点形成を目指す」及び「21 世紀 COE プログラムとして採択された「放射線医療科学国際コンソーシアム」と「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」の推進。」について、原爆被害を受けた長崎として放射線障害治療も含めて感染症対策など医学系の研究分野が、国際的な組織とも連携して国際的な視点で研究を展開している点で、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画で「熱帯医学研究所は海外研究拠点との共同研究推進により「熱帯感染症

研究教育機関として世界のトップ5」を目指す。」としていることについて、公衆衛生分野における我が国や発展途上国の人材を育成するために、公衆衛生学修士（MPH）の取得を可能とする国際健康開発研究科を設置することは、特色ある取組であると判断される。

### III その他の目標

#### (1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

##### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

##### 2. 各中期目標の達成状況

#### (1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

[評価結果] 中期目標の達成状況がおおむね良好である

[判断理由] 「社会との連携、国際交流等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（6項目）のうち、2項目が「良好」、4項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

##### 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(改善を要する点)

- 中期計画「研究者情報・共同利用設備使用のための情報ネットワークの相互乗り入れ体制を構築する」について、情報ネットワークの相互乗り入れ体制を構築しているものの、検討の段階にとどまっていることから、改善することが望まれる。